

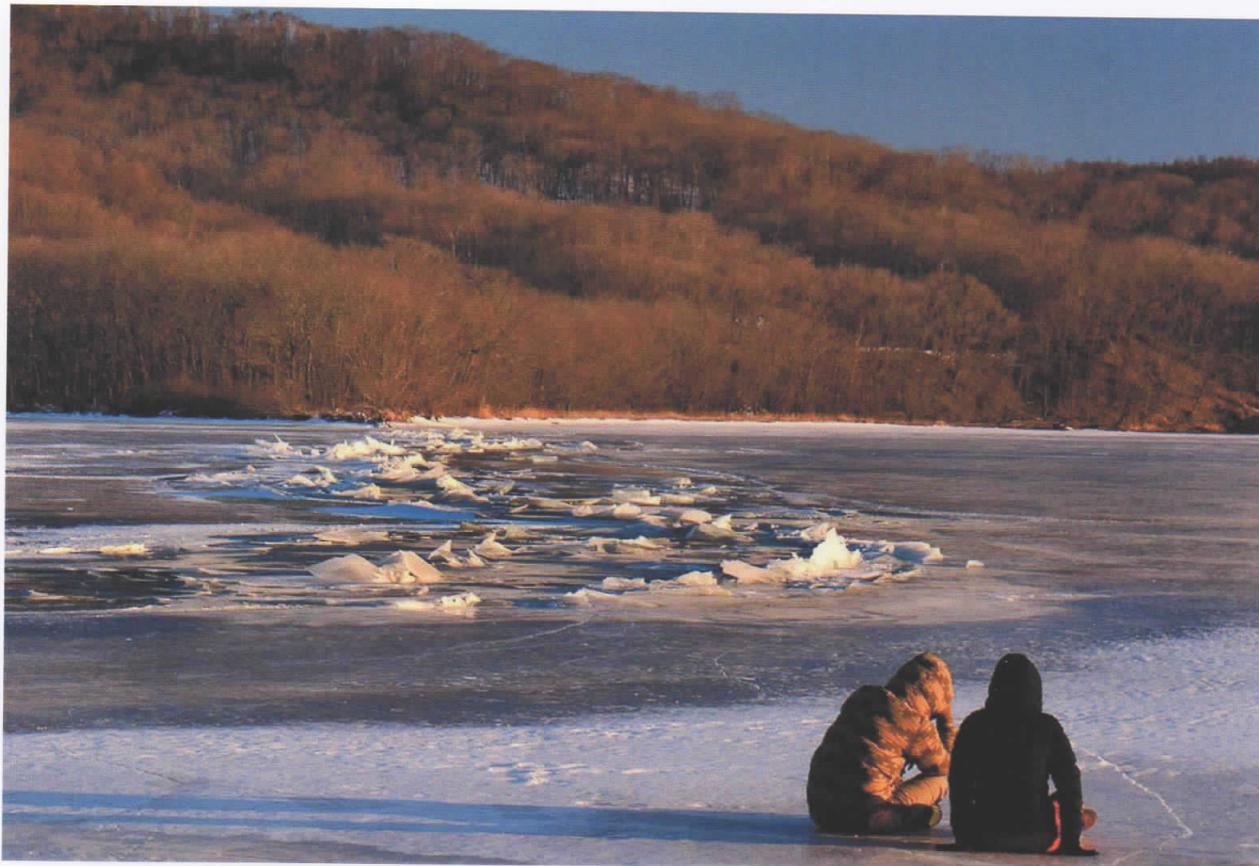
月刊 やちまなこ

2019. 1.15 発行

No.254

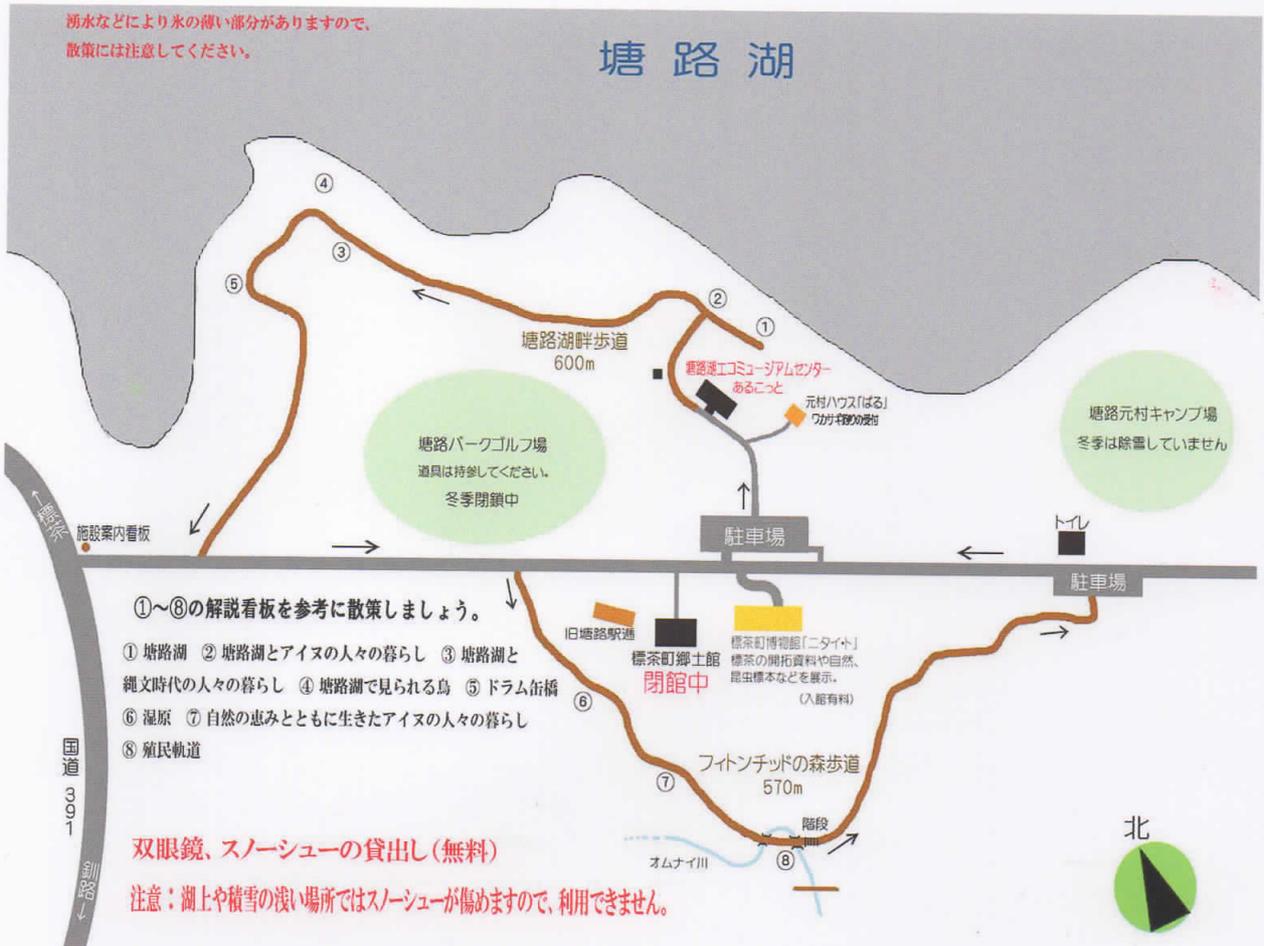
1月号

釧路湿原国立公園 塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）だより



湿原散歩

夜明けの湖面に氷が盛り上がり、蛇行しながら対岸に向かっていった。今年も御神渡り（氷丘脈）が現れた。このような現象もいつもなら降雪により、ほとんど姿を消してしまうことが多かったが、新聞やテレビに映像などで報道されてから厳冬期限定、神様の歩いた様子を一目見ようとする人の姿が目立つ。今月下旬にはSL冬の湿原号も運行され、いよいよ湿原観光の幕が開く。



塘路フィールドノート【12/15～1/14】

【野鳥】

湖面の凍結とともに、野鳥の姿は少なくなった塘路湖畔。しかし、注意深く観察していると、湖上をオジロワシが飛んでいたり、カラ類が活発に動き回っていたり、キツツキが盛んに木をつつく音が聞こえてきたりします。



タンチョウ (塘路湖)

ふと窓の外を見ると凍結した湖上を歩く2羽の姿。ちょっと得した気分になりました



マガモとミコアイサ (塘路湖)

わずかに開いた水面に集まっていました。手前がマガモ♂。奥がミコアイサ(左端:♂)



ヒヨドリ (塘路湖畔)

樹氷に覆われた枝の上で発見。静まり返る湖畔に独特な鳴き声が響き渡っていました



コゲラ (塘路湖畔)

冬はコゲラを見つけやすい季節。ギーッと鳴き声とともによく姿を現します



アカゲラ (サルボ展望台下)

森の中に軽快なドラミングを響かせていた♀。かなり近くまで寄ってきてくれました



オオアカゲラ (フィットンチッドの森)

塘路湖周辺での確認は珍しい野鳥。一瞬だけ止まってすぐに飛び去ってしまいました

【植物】

今年は雪が少ないからか、茶色く変色したドライフラワーや赤や黒の果実がよく目立ちます。さらにここひと月ほどはずっと晴れ間が続いており、空の青さと植物の色が相まって真冬とは思えない豊かな色彩が見られます。



フキノトウ (サルボ展望台駐車場)
一足早く春を迎えた個体。駐車場北側の日当たりの良い斜面でぽつぽつと見られました



ノリウツギ (塘路湖畔)
円錐型が特徴のドライフラワー。外側の飾り花が朝日でキラキラと輝いていました



ホザキシモツケ (塘路湖畔)
夏の塘路湖畔を代表する花の枯れ跡。茶色く色が変わった現在もその存在感は抜群です



ナナカマド (フィトンチッドの森)
今年たくさんの実をつけた一本。しかしなぜか、まだほとんどの実が残っていました



キハダ (サルボ展望台下)
乾燥して干しブドウのようになっていた果実。この時期の野鳥たちが好んで食べます



ハリギリ (フィトンチッドの森)
塘路湖周辺ではやや稀な樹木。線香花火のような果実を目印に探すと見つけやすいです

◎個性豊かな植物の冬芽たち



ミズナラ (サルボ展望台)



ハシドイ (サルルン展望台)

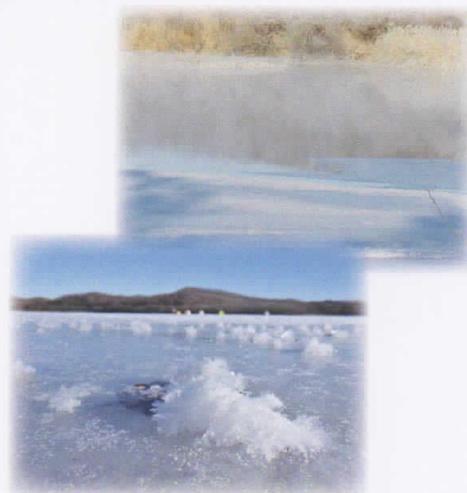


キタコブシ (元村キャンプ場)

■寒さ厳しい朝には

冬の到来が遅かった今年の塘路湖畔ですが、年末からはずっと晴天が続き、それに伴って厳しい寒さの日が多くなってきました。家から出るのも億劫になるほどのこの時期の寒さ。しかし、塘路湖畔ではこの寒さこそが真冬にしか見られない特別な光景を生み出す役割を果たしているのです。

先日朝の気温が-15℃を記録した日、塘路湖ではけあらし(写真上)とフロストフラワー(写真下)が見られました。けあらしは水面から立ち上る霧が湯気のように見られる現象。フロストフラワーは湖面から蒸発した水蒸気が凍り付いて結晶化したもの。いずれも-15℃前後まで冷え込んだ極寒の朝だけにしか見られない神秘的な光景です。



■手作り凧を揚げました

5日、自然ふれあい行事「連凧を作って揚げよう」を開催しました。はじめにセンター職員から凧の作り方について説明を受けたあと、凧用紙に各自干支のイラストや文字などを描き、竹ひごで骨組みをして2枚作り、糸でつなげて連凧を完成させました。早速外に出て凧揚げに挑戦しましたが、風が弱い条件の下、子供たちは元気に走りながら凧を揚げていました。参加者から「初めて作った凧が揚がってよかった」「揚げる場所や凧も見かけなくなり、子供の頃を思い出しました」などの感想があり、新年を迎えた湿原の空の下で凧揚げを楽しんでいたようです。



凧と一緒に はいポーズ。

2月の自然ふれあい行事

事前の申込が必要です。

◎釧路湿原フィールドウォッチング

[日 時] 2月9日(土) 10時～12時

[定 員・参加料] 10名 無料

[開催場所] 塘路湖エコミュージアムセンター

◎申込・問い合わせは塘路湖エコミュージアムセンターまで

☆歩くスキーで湿原ハイク

[日 時] 2月10日(日) 10時～12時

[定 員・参加料] 15名 無料

[開催場所] 温根内ビジターセンター

☆申込・問い合わせは温根内ビジターセンターまで (0154-65-2323)

◆日出・日入時間 12/15(6:45,15:49).12/31(6:52,15:57).1/14(6:51,16:11)

～編集後記～

■あけましておめでとうございます。釧路湿原も穏やかな新年を迎えましたが、厳しい寒さが続いています。冬の風物詩であるワカサギ釣りも始まり、週末を中心に凍った湖面にはカラフルなテントが目立ちます。また昨年続き、御神渡りが現れてセンターからも氷が盛り上がり対岸まで続く様子が見られます。湖面はとても滑りやすいので、注意して下さい。

釧路湿原国立公園

塘路湖エコミュージアムセンター あること

☎ 088-2264 北海道川上郡標茶町塘路原野

TEL: 015-487-3003 FAX: 015-487-3004

E-mail: emc@hokkai.or.jp

Instagram  torokoemc

開館時間: 10:00～16:00

(4～10月: 17:00まで)

休館日: 毎週水曜日 12月29日～1月3日

入館無料